

船橋市議会議員

(38歳)

みっはし

三橋さぶろう



議会活動報告

2017年7月19日発行

ヘリサインの整備が進む

九州北部豪雨災害で被災された方に、心からお見舞い申し上げます。

さて以前より三橋さぶろうは、議会で船橋市の防災力の強化を訴えてまいりました。その一つに災害時に活躍するヘリコプターが迅速に活動できるようにヘリサインの設置を提案してまいりました。平成29年第2回定例会の一般質問(7月7日)で、その後、市の取組について質問したところ昨年度までに10か所整備したとの答弁がありました。着実に非常時に備えた取り組みが進められています。引き続き防災力の強化に取り組んでまいります。以下はヘリサインについて一般質問の要約を掲載いたします。

(うら面へ)

ヘリサインとは？

大規模な災害が発生すると建物が倒壊、焼失、流失、水没などにより街の状況が一変し、ヘリコプターから地上を見てもどこに何があるのか判らなくなります。また、救援のため各方面から来るヘリコプターも地理に不慣れなため位置や場所を特定するのが困難な場合もあります。

そのため、頑丈な公共施設の屋上を中心に、蛍光色の塗料等で施設名の略称を表示するものをヘリサインといいます。

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(38歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・健康福祉委員会 ・民進党派
- 特 技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族:妻、息子(4歳)

(前面から)

質問者：三橋さぶろう

東日本大震災では津波や火災の発生で街の状況が一変し、上空から何処に何があるのか解らなくなったことから、ヘリサインの重要性が認識され東京や神奈川で設置が進んでいます。私が過去の一般質問で小中学校にヘリサインの設置を提案しました。現在ヘリサインの整備状況はどのようになっているのでしょうか？

答弁者：市長公室長

平成 28 年度に湊町小学校、高根中学校などの小中学校 10 施設に整備を行い、平成 29 年度 3 月末で市施設 22 か所と県立高校 2 校を併せて、24 か所にヘリサインを設置しております。

今年度は市内の小中学校 5 か所の整備を予定しており、今後も市内の各地域のバランスと有効性を考慮し設置していきたいと考えております。なおヘリコプターの臨時離発着場となる、運動公園陸上競技場および日本大学理工学部のグラウンドへの整備については施設管理者と協議しており、整った段階で整備をしていきたいと考えております。

平成 28 年度に船橋市内に設置されたヘリサイン場所

金杉台中学校、高根中学校、大穴中学校、湊町小学校、大穴小学校、高根台第三小学校、飯山満南小学校、金杉小学校、七林小学校、法典西小学校（計 10 か所）

三橋さぶろう 市議会報告

日 時：平成 29 年 8 月 5 日（土）14：00～16：00

場 所：三橋さぶろう事務所（駐車場はありません）

船橋市習志野台 4-10-12（新京成線習志野駅から徒歩 4 分）

1 時間ほど議会活動報告。その後、質問や要望をお聞きし、意見交換させていただきます。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台 4-10-12（新京成線習志野駅から徒歩 4 分）

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

HP：<http://mituhashisaburo.jp>

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。